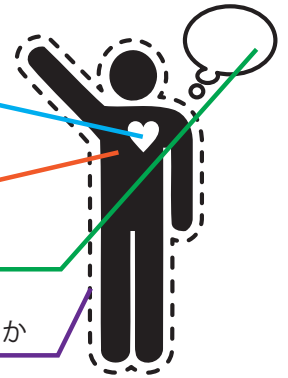


多様な性とは

セクシュアリティとは

私たち一人ひとりの性のあり方のことを「セクシュアリティ」といいます。セクシュアリティは主にこの4つの要素から成り立ちます。

- 自認する性 (Gender Identity)
自分の性別をどのように捉えているか
- からだの性 (Sex Characteristics)
からだのつくり、特徴など
- 好きになる性 (Sexual Orientation)
どの性別の人を好きになるか、ならないか
- 表現する性 (Gender Expression)
どのような服装、振る舞い、言葉づかいなどをするか



SOGIとは

人それぞれの、好きになる性と自認する性の組み合わせのことを「SOGI(ソジ)」といいます。表現する性を加えて「SOGIE(ソジイー)」、からだの性を加えて「SOGIESC(ソジエスク)」ということもあります。誰もがもつセクシュアリティの多様性を尊重する言葉として国際的にも使用されています。

様々なセクシュアリティ

<シスジェンダー>

自認する性と、出生時にからだの性をもとに割り当てられた性別が一致する人。



<トランスジェンダー>

自認する性と、出生時にからだの性をもとに割り当てられた性別が異なる人。



<Xジェンダー>

トランスジェンダーのうち、自認する性が男女どちらかではないなどという人。



<ヘテロセクシュアル>

自認する性が女性で、好きになる性が男性の人。自認する性が男性で、好きになる性が女性の人。



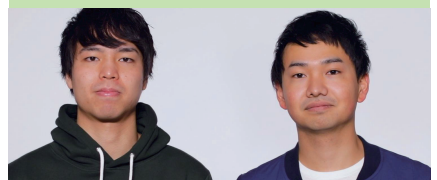
<レズビアン>

自認する性が女性で、好きになる性が女性の人。



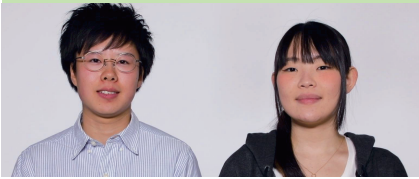
<ゲイ>

自認する性が男性で、好きになる性が男性の人。



<バイセクシュアル>

自認する性に関わらず、好きになる性が女性と男性の人。



<パンセクシュアル>

自認する性に関わらず、好きになる性を問わない人。



<アセクシュアル>

自認する性に関わらず、好きになる性をもたない人。



<クエスチョニング>

セクシュアリティがわからない、決められない、またはあえて決めない人。

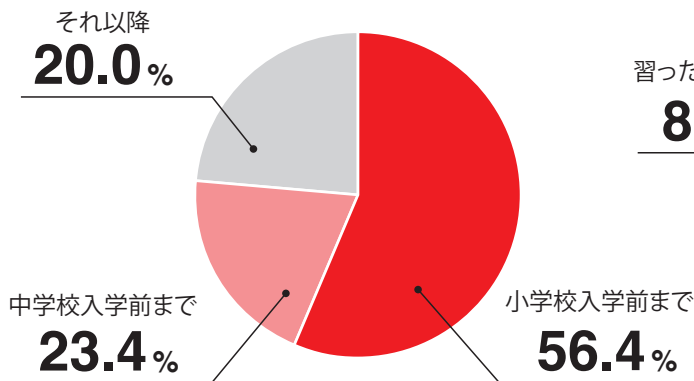


- シスジェンダーかつヘテロセクシュアルの人は「セクシュアルマジョリティ」にあたります。
- そうではない人は「セクシュアルマイノリティ」にあたります。
- レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとって「LGBT」ということもあります。
- LGBTの人たちは約3～10%いるといわれています。(*1)

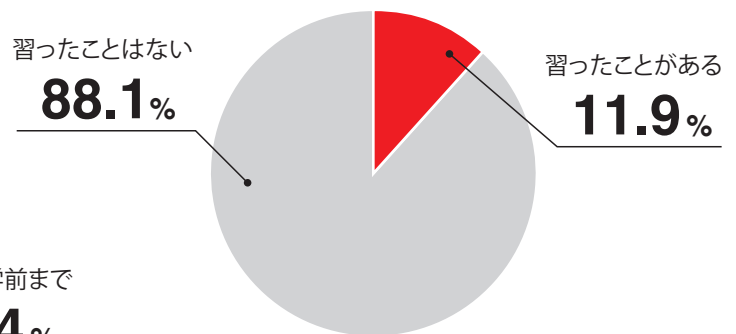
*1「働き方と暮らしの多様性と共生」研究チーム(2019)「大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート」ではLGBが2.7%、Tが0.7%、「アセクシュアル」「決めたくない・決めていない」を含めると8.2%。日本労働組合総連合会(2016)「LGBTに関する職場の意識調査」ではLGBT等(性的マイノリティ)当事者が8.0%。株式会社LGBT総合研究所(2016)「LGBTに関する意識調査」ではLGBTが5.9%、LGBTを含めたセクシャルマイノリティが8.0%。電通ダイバーシティ・ラボ(2018)「LGBT調査2018」ではLGBTを含む性的少数者(セクシュアル・マイノリティ)が8.9%。日高庸晴・三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」(2018)「多様な性と生活についてのアンケート調査」ではLGBTQが10.0%。岩手県高校教育研究会学校保健部会・いわて思春期研究会(2013)「高校生の生と性に関する調査」ではセクシュアルマイノリティが10.1%。

LGBTの子どもたちの現状

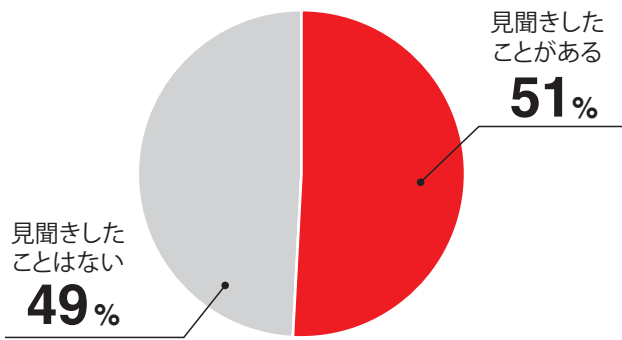
トランスジェンダーの人が性別違和を感じ始めた時期(*2)



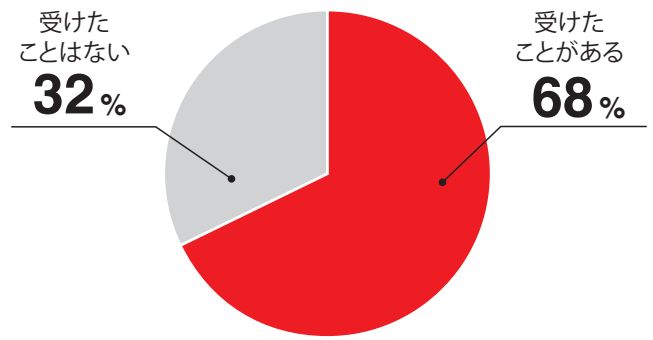
多様な性について学校で習ったことがある中学生(*3)



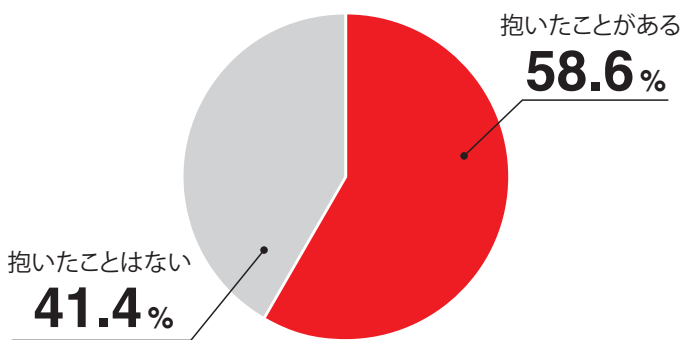
差別用語である「ホモ」「オカマ」などの言葉を学校で見聞きしたことがある中学生(*3)



小学生から高校生の間にいじめや暴力を受けたことがあるLGBT(*4)



自殺念慮を抱いたことがあるトランスジェンダー(*2)



*2 中塚幹也 (2017)『封じ込められた子ども、その心を聴く：性同一性障害の生徒に向き合う』ふくろう出版

*3 特定非営利活動法人ReBit (2014)「LGBTに関する出張授業についてのアンケート」

*4 いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン (2014)「平成25年度 東京都地域自殺対策緊急強化補助事業 LGBTの学校生活に関する実態調査(2013) 結果報告書」

内閣府 (2012)「自殺総合対策大綱：誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して」

自殺念慮の割合等が高いことが指摘されている性的マイノリティについて、無理解や偏見等がその背景にある社会的要因の一つであると捉えて、教職員の理解を促進する。

文部科学省 (2015)「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」

性同一性障害や性的指向・性自認について、教職員への正しい理解の促進や、学校として必要な対応について周知する。

メモ

LGBTの子どもたちが学校生活で直面しやすい困難



- 様々なものが男女別になっていること
- 男女を前提とした声かけ
- 情報やロールモデルがないこと
- 揶揄をされたり見聞きしたりすること

相談しやすい先生とは



- セクシュアリティを揶揄しない先生
- 様々な「ちがい」に寛容である先生
- 多様な性があることを知っていて、寄り添いたいと思っていることを言葉や態度で示してくれる先生

カミングアウトへの対応

それまで人に伝えていなかったセクシュアリティを誰かに打ち明けることを「カミングアウト」といいます。また、本人の同意なく第三者にセクシュアリティを暴露することを「アウトティング」といいます。



- 聴く
- 知る
- つなげる
- 決めつけない
- 広めない

アライの先生であるためにできること

LGBTの人たちの味方でありたい、寄り添いたいと思う人のことを「アライ」といいます。



- セクシュアリティを揶揄しない
- 多様な性があることを前提とした言動をする
- 多様な性に関する情報を発信する
- 制度や設備を整える
- 学校として、多様な性に関する理解を深めるための取り組みをする

メモ

今日からできること

学び続ける



ALLY TEACHER'S SCHOOL

多様な性に関する本・教材・指導案などを検索できるオンライン情報センターです。教育関係者同士がつながることのできるオンラインコミュニティもあります。



発信する



小学校・中学校で授業をするための教材キットです。誰でも無料でダウンロードしていただけます。



応援する



月1000円からの継続寄付制度です。LGBTの子どもにとってもすこししやすい学校をつくるため、みなさまのご支援が必要です。



受講者アンケート

受講者アンケートにお答えいただくと、修了証を発行できるようになります。

https://rebitlgbt.org/project/kyozai/teacher/questionnaire_students



主催者アンケート

研修を企画・運営された方は「主催者アンケート」「受講者アンケート」の両方にお答えください。

https://rebitlgbt.org/project/kyozai/teacher/questionnaire_organizer



メモ